
Villa Romana de Sendim

について

紀元1世紀後半に建設が開始されたこのヴィラは、4世紀の終わりから大幅に改造され、5世紀と6世紀にそれぞれシュヴァーベンと西ゴート族の領地に抵抗しました。6世紀半ばに大火事になった当時はそのまま放置されましたが、それから廃墟の一部が再建されることもあったと考えられています。

もともとはヴィゼラ川の流域に隣接した小さな谷の上の高原に作られたヴィラは、農業複合施設に統合され、いくつかの居住区画で構成されていました。居住区画のいくつかは、モルタル（opus signinum）と多色モザイクを破碎セラミックと混ぜ合わせた床を備えており、幾何学的なモチーフになっています。かつては中庭（ペリスティル）を取り囲むように構成されていましたが、4世紀に始まった改造工事の際に、より大きなお風呂が追加されました。

1992年に家を建てるための基礎の発掘中に発見されました。フェルゲイラス（Felgueiras）市議会は、発掘エリアを拡大するために土地を取得しました。考古学研究が始まった1997年12月に公益財産に分類されました。

何千もの断片からなる遺跡は、遺跡を支える通訳センターに展示されています。それは非常に多様で、一般的な陶磁器、輸入された高級陶磁器、ガラス製品、金属製の物体、青銅のコインの何千もの断片があります。

問い合わせ先

Rua da Villa Romana 4610-748 Sendim, Felgueiras

電話： +351 255 312 636

Eメール: villaromana.sendim@cm-felgueiras.pt

ウェブサイト: <https://cm-felgueiras.pt/viver/cultura/centro-interpretativo-villa-romana-de-sendim/>

バリアフリー案内